

備前市事務事業評価表

事務事業名	ホームページ作成事業		コード	05-01-01-05
			担当課・係	企画課 広報統計係
			担当者	下林博樹
			電話	64-1806
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	住民主体の協働のまちづくり		
	中項目(基本施策)	住民主体で進めるまちづくり		
	小項目(施策)	公聴広報		

事業について			
目的 (何のために)	利用者の利便性を考慮し、わかりやすく行政情報を提供する機能や利用しやすい市役所のポータルサイト(インターネットの入り口となる巨大なWebサイト)としての機能の充実を図ることを目的とする。		
対象 (誰・何を対象に)	インターネット環境にある市民(市内市外を問わず備前市の情報を知りたいと思う人)		
内容	市民が利用しやすいホームページの整備を図り、サービス提供の充実を図った。		

事業の結果				
実施項目	17年度		18年度	
	回数など	(単位)	回数など	(単位)
ページ数	650	ページ	860	ページ
アクセス件数	1,183,000	件	1,594,417	件
月平均アクセス数	98,583	件	132,868	件
ページ平均アクセス数	1,820	件	1,853	件

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	0	国庫補助金等	0	直接事業費	0	国庫補助金等	0
	人件費	1,580	受益者負担		人件費	1,708	受益者負担	90
	合計	1,580	市債	1,580	合計	1,708	市債	1,618

結果指標	必要人員	0.21	人	0.23	人
	結果指標名	アクセス数		アクセス数	
	結果指標量	1,183,000		1,594,417	
	単位	件		件	
結果指標	対前年比	134.78%		0.00%	
	活動にかかるコスト	1,580,000	円	1,618,000	円
	単位当たりコスト	1	円	1	円
	結果指標名	アクセス数		アクセス数	
結果指標	結果指標量	1,183,000		1,594,417	
	単位	件		件	
	対前年比	134.78%		0.00%	
	活動にかかるコスト		円		円
単位当たりコスト		円		円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	内容充実を図り、アクセス数を増やす。		
成果指標名	アクセス件数	式又は説明	市民がどれほどHP及び他のシステム系HPを利用しているかをアクセス数を指標とする。
成果指標量	17年度	18年度	
	1,183,000	1,594,417	
対前年比	134.78%		0.00%
到達目標値	2,000,000	到達目標年度	平成22年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等：)	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	市民が安心していつでもどこでも行政情報や行政サービスを利用できる仕組みを構築する。 行政情報であり、他の機関では市民に提供することはできない。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	<input type="checkbox"/> コストの効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	HPの特性は、利用者の時間的制約を受けないこと、きめ細かな情報を提供できる優れた面があるので、他の媒体との統合はできない。 HP事業はハード・ソフトに精通している担当が効率性が高い。 また、関係各課においてページ更新をしているが、作成のスキルアップが必要であり、作成委託も含め検討すべきである。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
市民参画度	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価<A~E> C 課題認識
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 1,594,417	結果指標量
結果指標量	1,594,417	

総合評価	良好な情報と見やすくわかりやすいHPの作成により、アクセス件数を増やすことが望ましい。 評価区分 <A~E> C
------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	良好で見やすいHPづくり		アクセス数の増加により多くの市民が必要な情報を容易に入手できる。